

“生きとし生けるものが幸せでありますように” 中学生三年生対象

R 7. 5. 27 於、加茂法話会

①

静座

- ・背筋を伸ばす（自立く人に頼らない・生きる力、丹田）
- ・よそ見をしない（人と比べない）
- ・今、ここを大切に（値踏みせず今していることに全力投球）

②

「生きる力」くアドレナリン・プロラクチン、歩行、ことば

- ・人権の花運動く苗はあなた、しかし苗だけでは育たない。

光、土、水、肥料、温度、予防など外側から施すことによって育ち、花が咲く。咲かせるのは苗自身（生きることは〈おしっこは〉代わってやれない、代わってもらえない）。外側から与えるものを「縁」という。

「おかげさま」〈すべてがあなたを応援している〉 縁を大事にする言葉
生きとし生けるものが幸せでありますように

③

「自分が一番かわいい」く不害・役に立つ 幸せの世界——不幸の世界
自分次第で世界が変わる——心のスイッチを少し切り替える

いつでも笑う、いつでも人のことを心配する かなかよく、少しでも役に立つように、先に「ありがとう」「挨拶」、先にあやまる。

④

「平和への誓い」（令和四年八月六日 子ども代表

広島市立幟町小学校六年バルバラ・アレックス 広島市立中島小学校六年山崎鈴）

戦争は昔のことではないのです。自分が優位に立ち、自分の考えを押し通すこと、それは、強さとは言えません。本当の強さとは、違いを認め、相手を受け入れること、思いやりの心を持ち、相手を理解しようとすることです。本当の強さを持てば、戦争は起こらないはずです。過去に起こったことを変えることはできません。しかし、未来は創ることができます。